

市民ワークショップ「みんなで話そう！ 佐伯の未来」

番号	地 域 名	日にち	時 間	場 所	ページ
1	佐伯地域	7/16（木）	19:00～21:00	佐伯地域コミュニティセンター	2
2	米水津地域	7/16（木）	19:00～21:00	米水津地域コミュニティセンター	3
3	青山地域	7/17（金）	19:00～21:00	青山地域コミュニティセンター	4
4	本匠地域	7/17（金）	19:00～21:00	本匠地域コミュニティセンター	5
5	西上浦地域	7/23（木）	19:00～21:00	西上浦地域コミュニティセンター	6
6	渡町台地域	7/23（木）	19:00～21:00	渡町台地域コミュニティセンター	7
7	八幡地域	7/24（金）	19:00～21:00	八幡地域コミュニティセンター	8
8	直川地域	7/24（金）	19:00～21:00	直川地域コミュニティセンター	9
9	木立地域	7/27（月）	19:00～21:00	木立地域コミュニティセンター	10
10	弥生地域	7/30（木）	19:00～21:00	弥生地域コミュニティセンター	11
11	鶴岡地域	7/30（木）	19:00～21:00	鶴岡地域コミュニティセンター	12
12	上浦地域	7/31（金）	19:00～21:00	上浦地域コミュニティセンター	13
13	下堅田地域	7/31（金）	19:00～21:00	下堅田地域コミュニティセンター	14
14	佐伯東地域	8/6（木）	19:00～21:00	佐伯東地域コミュニティセンター	15
15	上堅田地域	8/6（木）	19:00～21:00	上堅田地域コミュニティセンター	16
16	宇目地域	8/7（金）	19:00～21:00	宇目地域コミュニティセンター	17
17	大入島地域	8/8（土）	10:00～12:00	大入島地域コミュニティセンター	18
18	鶴見地域	8/21（金）	19:00～21:00	鶴見地域コミュニティセンター	19
19	蒲江地域	8/21（金）	19:00～21:00	蒲江地域コミュニティセンター	20

第3次佐伯市総合計画策定にか
かる市民ワークショップを19地
域で開催しました。
各地域の内容を別紙のとおり、
まとめています。



市の強み 魅力

- ・食べ物安くておいしい(市外のお客さんみんなびっくり)
- ・自然(山、川、海)、城山がある→住むのに良い。観光に良い
- ・豊かな自然
- ・山林が多い
- ・土地、空き家がある。弱み→強み。利用する。何でもできる
- ・水(番匠川や地下水)。おいしい、きれい。全国でもなかなかない(そのまま飲める)
- ・自然(海と山)
- ・それぞれの地域に特産物がある
- ・九州で最も広い市
- ・コミュニティセンターが19地域
- ・海、山、川の自然
- ・大きい災害が少ない(※日田市などに比べると)
- ・食べ物おいしい。郷土料理
- ・造船の技術力が高い
- ・災害が少ない
- ・造船業が数社あったの美しい
- ・工場が多い
- ・アウトドア好みの人には良い。海、川の漁。山の狩猟
- ・魚がおいしい
- ・自然が多い

など

8年後の将来像

- ・子供の笑い声。お年寄りが集まって楽しんでいる。若い人が生き生き働いている
- ・佐伯小が複式になっていない(各学年2クラス！)
- ・少しずつでも人口増加
- ・中心街が活性！
- ・新町が(スナックが)残っている
- ・うまいもん通りがにぎわっている
- ・観光キャンプ地の大々的誘致
- ・周遊する道路整備
- ・在宅医療(必要者全員に)
- ・観光地化
- ・少子化対策、空き家対策
- ・もう少しコンパクトに。災害に強いコンパクトシティ
- ・お城が欲しい(ゆるキャラを作る)
- ・災害に強いコンパクトシティ
- ・漁業権の一部(地区)を解放し観光地区にする(潜り、舟遊び)
- ・大入島が大島のリゾート化、スポーツ化
- ・若者が居やすいように就職先を増やす
- ・行政費用がかかるので地域をまとめるべき
- ・淋しい町になるでしょう
- ・若者が働ける場所(企業)がある！！
- ・働き場がない若い人の働き場

市の弱み 課題

- ・市域が広すぎる(道路などのインフラ整備にコストがかかる)
- ・面積が広すぎる
- ・旧市町村間に距離を感じる
- ・南海トラフ地震への恐怖
- ・観光面が弱い
- ・大分県なのに温泉がない
- ・史跡が活かされていない
- ・中央区域と地方地域では生活サービスに差異を感じる
- ・税金高い
- ・広すぎる
- ・空港が遠い(公共交通の不便さ)
- ・人が少なく、若者が少ない
- ・各団体のつながりがあるようでないので、まとまりがほしい
- ・広すぎて活性化したい場所がまとまらない
- ・モールが少ない
- ・中心地にでかい公園がない(遊具あり)
- ・地域が広すぎる
- ・経済のバロメーターは飲食店街！人の通りが全く無い
- ・若者の働き場所が少ない
- ・商店が無くなった

将来像の実現に向けて必要なこと

【観光地化】

- ・史跡の整備
- ・キャンプ地誘致
- ・あちこちでボーリング(温泉)
- ・バードアイで佐伯全体の土地利用状況をチェックする
- ・温泉掘りチャレンジ(市民寄附)

など

【少子化対策、空き家対策】

- ・空き家を活用した移住者支援
- ・チャレンジショップからの定住化
- ・佐伯を宣伝し、知ってもらう(自然、食)
- ・TVに何でもいろいろだしてもらう

など

【大入島が大島のリゾート化、スポーツ化】

- ・観光漁業をする。例えば蛸つぼ20ヶを2,000円で買い船に乗ってあげに行く。何匹入っていても持ち帰り
- ・持続性のある施設(宿泊、あそび、レジャー)
- ・人材(運営、実働体)。資金。住民の理解

など

【若者が居やすいように就職先を増やす】

- ・1次、2次の大規模な(安定)福利厚生のある企業、産業
- ・佐伯の観光マップがほしい
- ・城山の木を切る、切らないは市民の声を聞いて欲しい
- ・新規就農者応援施策

など

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること

- ・知恵を出す
- ・声を上げる
- ・情報発信。個人。インフルエンサー。ユーチューバー
- ・地域のことに興味を持つ
- ・自分以外の人にも参加をうながす
- ・青年団に若い人が集まる
- ・まわりの人々と交流
- ・生産年齢の人に来てもらう。子どもつれてIターン
- ・大勢の市民が選挙に参加して、市へどうしてほしいのか意見を出しやすくする
- ・祭りが好きなので各事業に参加出来る
- ・地域内の方々と情報を共有して知ること！

など

地域と行政などが協力してできること

- ・目標を決めて話し合う
- ・コミュニティ協議会の運営
- ・青年団の組織づくり(行政+市民)
- ・若い人の力を出しやすくする
- ・インバウンド客が来るような魅力のあるものってなにかある？→魅力的なものを作る
- ・マッチングアプリをつくる。男の人は佐伯市民
- ・婚活イベント。Iターンの男性をターゲット
- ・情報共有を各々立場で深める
- ・イベントなどは各会場へのコミュニティバスを運行して欲しい

など

行政にできること

- ・長期的な計画を立てる人をさがす(市民の意見も取り入れる)
- ・いろんな街づくり経験者等
- ・市外へ情報発信。観光の魅力(食、自然など)
- ・企業誘致を頑張る
- ・地域にでて現状を知る、動く。平日17時以降1時間でもボランティア！
- ・場外車券場。舟券買うとこの誘致
- ・市役所の職員が積極的に夜の町に出る
- ・長期的なビジョンでのプロデューサーを探してくる

など

市の強み 魅力

- ・佐伯ラーメンが少しだけ流行ってきている
- ・楽しいイベントが増えた
- ・国内でも有数な造船業や水産加工業がある。個人的な感想です
- ・海の幸、山の幸が豊富にある
- ・自然の観光スポット多い
- ・食、特に魚の豊富さ（350 種以上／年）
- ・海、山、川と自然が多い
- ・人のつながり
- ・子育て支援が実は充実
- ・風水害が少ない
- ・温暖な気候
- ・意外と若者リターン組が多い
- ・のんびりしている。時間がゆっくり
- ・品質の良い水産物があがる
- ・自然の遊び場
- ・釣りの聖地がある
- ・気候がよい。全体として夏の暑さも冬の寒さも国内的には適性
- ・海と山の両方の自然の良さがある
- ・親切な人が多い
- ・海産業。それに伴う海で働く人の育成
- ・うなぎを全国に売り出し など

8年後の将来像

- ・高齢者がいかにして幸せに過ごせるか行政主導で見通しがついている
- ・近くの人に頼めば中心部に連れていってくれる
- ・トンネルなどのインフラ整備
- ・子育て支援策をもっとアピール。人口増、流出防止
- ・出生数を現在の倍に
- ・子育て世代の移住、定住の増加。流出率の低下
- ・子どもが訪れるふるさとに
- ・佐伯に訪れる人が増える
- ・遊びに来る。廃校活用。動物園
- ・一泊 100 円で宿泊できるところが各地区にできている
- ・老人が楽しく暮らせる町。マンションを作る
- ・佐伯市に高校を卒業して働く場所が欲しい
- ・店舗、病院等生活に必要な施設があるのか不安に思う
- ・うなぎが売れて税金が増えてほしい

市の弱み 課題

- ・周辺地域の公園や観光地が草だらけ
- ・市全体が広域でまとまりにくい
- ・人が減り過ぎて地域が守れない
- ・広すぎて交通の便が悪い
- ・中高生の居場所がない
- ・子どもが少ない。若者の流出
- ・空港から遠い
- ・危機感不足
- ・人口問題
- ・地元意識が強すぎる（各浦々、旧郡部）
- ・若者の転職する場が少ない
- ・人を呼べていない
- ・遊ぶところがないと感じる
- ・交通
- ・空港から遠く物流にも影響
- ・市内全体が広すぎる
- ・温泉がない
- ・個人事業所が多いので、協調性がいまひとつ
- ・店が少ない
- ・売りがない
- ・造船以外あまり大きな産業がない など

将来像の実現に向けて必要なこと

【高齢者がいかにして幸せに過ごせるか 行政主導で見通しがついている】	【子育て支援策をもっとアピール。人口増、流出防止】	【子どもが訪れるふるさとに】	【老人が楽しく暮らせる町。マンションを作る】
・高齢者が取り組める軽スポーツ支援の強化	・市の HP の充実化	・佐伯市のことを学校教育の中でもっと取り入れる	・健康者用のシェアハウスとアパート
・社会福祉協議会を充実させる。民生委員も…	・移住希望の展示会等の開催	・大人が楽しく暮らす町。働ける場所	・家賃を無料をお願い
・移動店舗車への支援を充実する など	・婚活支援	・年 1 回、別の地区へ行って地区内の交流会を行う	・空き家をリフォームして建設費用削減 その分家賃格安に
	・大学までの学費補助	・施設の拡充新設（遊ぶ場、買う場、食） など	

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・割り切った有償ボランティア ・高齢者の為のボランティア活動	・このようなワークショップでは、地域と行政の橋渡し役である市議会議員のみなさんにも参加していただくことが大切で効果的	・地区にお金を出せ。防災補助 100%→地区へ総合補助交付金
・住んでいる地域の協力、美化活動参加、地域行事参加	・コミュニティ協議会の育成 ・話し合いを多くする	・コミュニティ、地域づくり、健康増進、介護予防の行政各関係課が連携
・地域住民の声を聴き、話しやすい場 ・SNS で市外へ発信	・防災対策。住みよい、住みたい米水津に	・行政の各部門間の横のつながり強化。縦割り行政からの脱却
・地域の郷土料理の提供など食の魅力の発信	・移住、定住支援のイベント開催＋参加。実際の住民の声を提供	・インフラ整備。トンネル、県道の落石防止
・移住体験プランなどの創出	・教育現場と地元の人々に職業人講話を取り入れる	・ファミリー世帯が考える魅力の掘り出し。アウトプット、支援サイトの作成等 ・佐伯空港をつくる
・コミュニティ協議会の活動を通じて米水津ににぎわいを作る	・地域産業の広報、支援 ・話し合いをする	・企業誘致 ・空き家の解体と土地の管理を工夫するなど
・SNS に地区の行事、出来事などを頻繁に発信する（写真をつけて）	・人の移動をよりスムーズに行うようにする など	・県下一の屋内施設をいくらかかかってもつくる など
・地元で自慢できる場所等を再確認、知る ・米水津を推す など		

市の強み 魅力

- ・住みやすい。大きな災害が少ない
- ・クマが居ない、出ない
- ・食べ物が安くて美味しい
- ・雪が降らない
- ・魚がおいしい
- ・面積
- ・食が豊か（特に魚、おいしい米）
- ・歴史と文化の町を誇れる
- ・食が美味しい（海、山、川）
- ・自然が多い
- ・広い。自然が多い
- ・人がよい
- ・有名な経済人を輩出している
- ・いい意味でも広い
- ・水がきれい
- ・空気がきれい
- ・佐伯の人は優しい
- ・魚がおいしい

8年後の将来像

- ・医療費タダ
- ・最低所得保障。ベーシックインカムが導入されていて、働く者が元気でいけそう
- ・政府がすべての国民に対して所得や資産、就労状況に関係なく定期的に一定額のお金を支給する制度ができる
- ・職員の方々が市民の方とアイデアを出しあって佐伯独自色を出していつている
- ・昼食に難儀してそう
- ・スキルアップした市役所になれる
- ・農業者が減って荒地が増えてさびれた街
- ・日本に誇れる造船所に成長する。AI ロボットを取り入れる
- ・外国人も住みやすいまち
- ・佐伯外から遊びに来るような施設の建設
- ・若者が働く場所が多い
- ・大きなスポーツ大会ができる場所をつくる（例えばスケボーなど）
- ・林業。太陽光発電。小水力発電による脱炭素化
- ・環境整備して人を呼べる町にする
- ・地域の活性化。コミュニティが生き活きしている
- ・外国人労働支援によりコミュニティの維持
- ・まちが生き活きしている
- ・スポーツイベント等で人を呼び込む
- ・甘酒、焼酎をつくる
- ・ゴルフ場をつくる（人がくる？）

市の弱み 課題

- ・子育て世代にきびしい
- ・インフルエンザの予防接種申請が必要。めんどくさい
- ・コンサルタントに頼りすぎでは？
- ・シングルマザー家賃補助がほしい
- ・交通網が便利悪い（つなぎ）
- ・旧南郡と旧佐伯市との補助金の差
- ・農業生産はあっても規模感が小さい
- ・空港から遠い。電車を含めて、自動車以外の交通の便が悪い
- ・ほっとハート駐車場。妊婦への説明不足
- ・地域の事を考えている人が少ない（イベントのお客でもいい（夏まつり、収穫祭）から参加して欲しいのに）
- ・財政が厳しいみたい
- ・若者が卒業したら県外へ出る
- ・悪い意味でも広い
- ・米の価格高値安定
- ・廃校や施設が多い
- ・農業の担い手不足
- ・コミュニティ運営持続性
- ・大企業がない
- ・土地があまりすぎている
- ・娯楽（遊び場）が少ない

など

将来像の実現に向けて必要なこと

【医療費タダ・最低所得保障】

- ・電子申請
- ・多様な働き方
- ・法整備。制度化
- ・ジョブ型雇用制度
- ・外国人への医療費削減
- ・病院のサロン化の禁止

【日本に誇れる造船所に成長する。
AI ロボットを取り入れる】

- ・佐伯市が最新の船を受ける
- ・既存地場企業が発展するよう行政も取組む

【地域の活性化。コミュニティが生き活きしている】

- ・楽市楽座
- ・外国人の労働支援

【スポーツイベント等で人を呼び込む・甘酒、焼酎をつくる】

- ・野草茶をつくる（新たな産業を）
- ・また来たいと思えるイベントを企画
- ・有名、イマドキなふるさと応援大使を呼ぶ！
- ・流行にのっかる（ポケモンとか？）

など

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること

- ・元気で居る事！
- ・地域に住み続け守る事
- ・自分の楽しい！！をする
- ・空き家の紹介
- ・実現に向けての学習
- ・コミュニケーションをとる行事
- ・安心安全なお米をつくる！
- ・おいしく焼酎をのむ
- ・健康診断の義務化で健康な体の維持
- ・自給自足。アイデアを活かしたお金のかからない生活
- ・自分たちの地域をきれいにする。維持する

地域と行政などが協力してできること

- ・企業誘致
- ・起業支援
- ・地元出身者の優遇
- ・廃校の利活用
- ・体育館の利活用
- ・行政も地域も win win な仕組み
- ・生活保護をもっと厳しく査定して、納税者に納得できる社会保障
- ・税を公平に使う。きちんと税金を納める
- ・地産地消の奨励！（食料）
- ・利益の出るコミュニティを増やす

行政にできること

- ・働く人材の流動性を確保する
- ・補助金
- ・もうかったお金（利益）は地域に
- ・税金をなくす
- ・特区活用
- ・労働力の確保
- ・重要産業に就職した際は学費免除（奨学金等）
- ・コミュニティ支援金増。バックアップ
- ・空き家の仏壇を一同にまとめてくれる事（宗派を超えて）
- ・補助金交付金の制約が厳しい（もう少し地域の人が参加できるようにゆるく…）
- ・企業誘致。ここに来たいと思う魅力をつくる

市の強み 魅力

- ・山もあれば海もある！！
- ・釣りで遊べる！
- ・豊かな自然。山、川、海すべてすばらしい
- ・人情豊か、優しい人が多い
- ・川で遊べる。カヌーができる
- ・九州一広いまち
- ・山豊か。海豊か
- ・海鮮が美味しい
- ・自然が多い、食
- ・人のつながり。素直なところ
- ・しいたけがおいしい
- ・製造業、水産業が強み？
- ・今は林業が元気
- ・山、海、川の自然が豊か
- ・おいしい魚が推し！！
- ・九州一の面積
- ・リアス式海岸。多くの漁具類に恵まれた地の利を生かした取り組み。全体像としてほこりたい

8年後の将来像

- ・市民ファースト！市民を大事にするまち
- ・みんなが働ける町
- ・住んでいる人が楽しいまち
- ・安心して生活できる街
- ・本匠の自然の価値の上昇
- ・VR で買い物ができる
- ・仮想空間アバターによって買物の効率アップ
- ・自動運転の車が走るまち
- ・温泉がわいている
- ・乾燥しいたけによって宇宙食ビジネスの成功
- ・若者定住が進み明るく元気なまち
- ・高齢者が皆元気！！
- ・佐伯市のまま元気に存続していて欲しい
- ・若者は極たんに居ない
- ・高齢化がさらに進み、活力のないまち
- ・自然豊かなまち
- ・人口が減っていて空き家が増えているであろう
- ・人的生産力から AI や人間ロボットに依存した社会。
- ・元気老人「日本一」の町
- ・高齢者が元気で働ける街！！
- ・みんなが笑顔→健康と豊かな暮らし
- ・シシ、サル、シカの被害のない町
- ・ピンピンコロリの実践

市の弱み 課題

- ・一体感がない。広すぎて統一感とか全体が同じ感がない
- ・空き家が多い
- ・広すぎ
- ・高齢化率が高い
- ・人口減が進んでいる
- ・鹿、猪の被害で困る
- ・イベントが重なる
- ・山の人は元気がない
- ・古い習慣が多い
- ・空港が無い
- ・類似施設が多く経費がかかる
- ・空き家の増加
- ・賃金的に安心して生活出来る企業が少ない
- ・面積が広すぎる
- ・地域が点在している
- ・山林に携わる人を育てる。今は魅力なし
- ・地理的に他地域とのつながりが乏しい（道路網など）
- ・どこに行くにも遠い
- ・若者を引き止める物（職場）が少ない（進学）
- ・せっかく九州一広い市を謳っているのに、移動するのに（市内なのに）バスがなく、自家用車でしか出来ない

将来像の実現に向けて必要なこと

【市民ファースト！市民を大事にするまち】	【元気老人「日本一」の町・みんなが働ける町】	【本匠の自然の価値の上昇】	【若者定住が進み明るく元気なまち】
・生活にゆとり。生きがい ・健康であること ・住み続けたら 10 年毎に地域で使える商品券がもらえる ・企業誘致。高齢者向けの仕事 ・たくさん補助金 ・子育て支援、介護支援	・仕事→軽作業（すこしの収入） ・生涯現役の精神！	・宣伝 ・自然（番匠川）が本匠の遺産であることの共通認識 ・気力！！ ・胆力！！体力！！	・企業誘致！ ・佐伯の産業、企業が「カッコイイ」と思わせる ・お金になる第一次産業の進展 ・若い世代の希望や意見を汲み取る場を設ける など

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・お祭りを開催、参加 ・ボランティア作業 ・地域の人とお茶会ができる ・先手、率先あいさつを実践する ・SNS で PR ・見守り体制の確立 ・地域を愛し、人々を愛し、人々の困り事や人々のなやみ事すべてに手を差し伸べる気持ちを大事にして過ごす ・こまった人に手助けが出来る ・地域の行事を維持すること ・地元の農産物を使って加工品を作る ・子ども（学校）に積極的に関わる ・軽スポーツの実せん ・元気でいること	・行政は地域巡回する ・あきらめない！！ ・防災情報の共有。道路情報等 ・連絡体制の強化、連携 ・物事（事業）の取捨選択（的確な） ・不満や困り事を行政に伝える人を配置する ・小さな活動や計画を多くを巻き込み、大きなプロジェクトにしていく ・コミュニティ協議会ばかりに任せないで行政はしっかりやろう ・本匠に住む！！ ・企業誘致	・地域に出向いて住民の声を聞く ・環境整備 ・人員（職員）の確保 ・Do 田舎.com ・若者定住等の拡充。情報の提供 ・交通手段の確保（きめ細かな） ・行政のしている事（プロジェクト）を市内企業と一緒にする ・どこでも市役所の導入 ・道路の拡充 ・地域活動ができる予算の確保 ・福祉行政の充実

市の強み 魅力

- ・海、山、川等自然が豊か。海の幸、山の幸がおいしい
- ・自然豊か（海、山、川）
- ・魅力的なグルメ
- ・歴史的遺産
- ・良い意味でゆるくて住みやすい
- ・人情に厚い
- ・住みやすい
- ・魚がおいしい
- ・人があたたかい。仲良し
- ・天候がよい
- ・食べ物がおいしい
- ・人柄が良い
- ・海がある
- ・人が優しい
- ・広い海。災害が少ない
- ・食べ物が豊富
- ・外国の人が多い
- ・自然豊かで住むのには素晴らしい所
- ・魚が生かされている
- ・造船業が盛んで活気がある
- ・山と海に囲まれて、自然が豊富。海、山、川 など

8年後の将来像

- ・子どもの緊急病院が出来た
- ・高齢者の移動手段がうまくいっている 8年後
- ・自然を生かした産業が盛んになっている
- ・佐伯の寿司を目的にインバウンドがおしよせる！
- ・子供の声が聞こえる。外で遊ぶ声が聞こえる
- ・小規模自治体のモデルケースとなる事例となった！
（資源を活かした観光の見せ方成功事例）
- ・国際的ないろんな国の人が安心して仲良く暮らせる
- ・地域や学校が合併している
- ・子供が少なくなるため教育が行き届き優れた子供達地域で起業する
- ・自然を生かした子育てが出来、市民が若々しく元気な市！！
- ・高齢化が進む中で、今いる地域で暮らしていけるような支援ができる市
- ・若者が生き生きとした街
- ・支援が充実している
- ・歩いて行けるとところにコンビニがほしい
- ・各地域が輝いていけるよう支援が必要
- ・企業の進出、学校（大学）の進出
- ・観光スポットの増
- ・Uターン者。もどりやすい町
- ・県外にでている人がかえりたいというまちづくり。受け皿づくり
- ・若者に魅力あるまちづくり

市の弱み 課題

- ・津波発生時に短時間で到達してしまう。逃げる時間が短くて
 - ・避難路の整備不足。避難地の整備不足
 - ・産婦人科が少ない
 - ・緊急の場合の病院がない（子ども）
 - ・若者が出ていく。雇用がない
 - ・子供が少ない
 - ・交通の便が悪い
 - ・高校が少ない。大学が無い
 - ・大きなイベントが少ない
 - ・外国の人が多い
 - ・個人情報の乱用か
 - ・年寄が多い
 - ・誘致がない
 - ・遊び場、広場がない
 - ・県外客が来ても連れていく所がない
 - ・催し物はあるが、その場限りである
 - ・若者の働く場の充実
 - ・広いようで狭い
 - ・娯楽施設が少ない
 - ・面積が広く横のつながりが弱い
 - ・企業が少ない
- など

将来像の実現に向けて必要なこと

【高齢者の移動手段がうまくいっている8年後】	【若者が生き生きとした街】	【企業の進出・学校（大学）の進出】	【観光スポットの増】
・付き添いヘルパー等を利用しやすくする ・マイクロバスやタクシーで市が無料で乗れるようにする ・地域の人達で一緒に行ける仕組みをつくる ・自動運転の特区になる！	・家庭との両立 ・20代、30代、40代が主になる ・若い人に任せる	・土地 ・道路 ・看護学校誘致の働きかけ ・環境	・観光資源が生かされていない ・PR ・ふれあい市場の拡大 ・彦岳登山道の整備 ・釣り人のためのコンビニ ・JRとの連携 ・五円会→運営委員会 ・若者の部会 ・空き家を民宿に利用するためのPR - など

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること

- ・地域の子供とふれあい、その子の体調の変化等に気をつける
- ・自分の周辺（身近な）の人の移動支援をやってみる
- ・地域でアイデアを募集（組み上げる）→行政へ提案
- ・佐伯の魅力の発信
- ・近所とのつながりをもっと良くする
- ・地域で買い物ヘルパーを増やす
- ・ボランティア
- ・地域の若者同士の交流
- ・地域で見守り
- ・行事への積極的な参加をする
- ・仲間を増やす
- ・災害時の近所の声かけ
- ・月に1回地区で集まる会 など

地域と行政などが協力してできること

- ・子供達が地域を誇りに思える体験学習
- ・行政と地域住民の交流の場を作って仲良くなる
- ・行政の情報を地域の人に伝える人をつくってもらう
- ・彦岳を生かすため行政と地域が一体となって対応。JR など
- ・移動手段について行政と一体となって取り組む
- ・持続可能な仕組みづくり ・域内巡回バスの運行
- ・空き家、空き地の有効利用 ・学校跡地の有効活用を考える
- ・ふれあい市場→道の駅化 など

行政にできること

- ・ 乗り合い、助け合いの仕組みを作ってもらう
- ・ 補助金や税制での優遇。少子化対策
- ・ 〈学校の統廃合〉 早めに手を打つ（適切な児童数）
→ 県外からも魅力となる学校へ
- ・ 施設の建設。複合施設、避難場所、体育館、集会（イベント場）
- ・ 優れた学校の先生を連れてくる
- ・ 交通に関連した規制の緩和
- ・ 空き家を活用した若い人への移住支援
- ・ 学校（大学、福祉、看護）
- ・ 場所作り（集会場）。体育館
- ・ 土地、道路誘致 など

市の強み 魅力

- ・海と山があり自然豊か
- ・高校生まで医療費無料
- ・食べものおいしい
- ・歴史のある町並み
- ・子どもに優しい
- ・気候がよく住みやすい
- ・魚や地の野菜など食材が豊かである
- ・豊かな自然
- ・水おいしい
- ・子どもかわいい
- ・温かい人たち
- ・1次産業
- ・水産加工がいっぱい
- ・人とのつながり
- ・広さ
- ・高齢者の活動場所が多い
- ・林業が強い
- ・食材が豊か
- ・造船と水産が有名
- ・比較的治安が良い
- ・海、山の恵み（産品、景観）

など

8年後の将来像

- ・子ども達が活躍できる場が多くある
- ・人と人がふれあい交流のあるまち
- ・子どもたちが気軽に集まれる場所がある
- ・学校がのびのびと自由な場所になる（子どもと先生と地域の人の笑顔）
- ・学生が運営するカフェに人が集う
- ・多世代交流が盛ん
- ・医療の充実した市（外来、介護施設）
- ・仕事をする場があり、若い人が生活しようと思える市
- ・県外、市外から多くの旅行者が来る
- ・挑戦する場が増えている。企業、文化的発表など
- ・都会からIターンやUターン者が増えている
- ・子どもが楽しく学校に行ける
- ・子どもが住み続けたいと思うまち
- ・水産業が盛ん（大学誘致）
- ・仕事先に困らない
- ・地域の人と楽しくお酒が飲めるまち
- ・外国人の増加で結び付きが更に薄くなる
- ・医療が充実し安心して住める街
- ・高齢者がいつまでも元気な町
- ・幸福度が高い街
- ・たくさん挑戦できる場所

など

市の弱み 課題

- ・保守的
- ・世代間交流が希薄
- ・交通の便が悪い
- ・学生の遊べる場所が少ない
- ・学校に行きにくい子どもたちが行ける場所が少ない
- ・医療体制の弱さ（特に救急、整形外科、小児科）
- ・夜遅くあいてる自習室がない
- ・困りを抱えこんで悩む人が多い？
- ・孤独な人が気になる
- ・文化的な心の育ち、関心の低さ
- ・地域作業などをする人材の不足
- ・子育て世代のつながりが弱い？
- ・空き家が有効活用等されず、ほったらかしが多い
- ・娯楽が少ない
- ・働き場所が少ない
- ・まとまりがない
- ・高齢者が多くなる
- ・街が貧しい
- ・後継者が少ない
- ・政治の関心が低い
- ・所得レベルが低い

など

将来像の実現に向けて必要なこと

【たくさん挑戦できる場所】	【子どもが楽しく学校に行ける。 子どもが住み続けたいと思うまち】	【外国人の増加で結び付きが更に薄くなる】	【医療が充実し安心して住めるまち・ 高齢者がいつまでも元気なまち】
・「挑戦する場」として空き家を活用、提供する ・地域の人と話す場所をつくる ・ボランティアなどもっと気軽に参加できるようにする ・人と人とのつながりづくり（コミュニケーション） など	・親が楽しく暮らせている生活環境 ・さまざまな経験ができる場を提供 ・学校の在り方（授業など） ・子どもの興味や理解の寄り添う教育 など	・外国人の自治区参加 ・外国人増に対しコミュニケーション能力を高め、交流の機会を増やす ・外国時労働者の方の待遇を良くする。長期に働けるようにする など	・病院の集約 ・医療関係者の待遇の向上 ・ご近所つきあい。住民同士の見守りシステム

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・自分から積極的に動く ・イベントや企画を増やす ・魚の美味しさを発信する ・地域内の人々のつながりを作る ・地域の人との話し合いの場へ参加 ・得意なこと先生になり教える ・子どもたちの思いを日頃から聞き、挑戦する気持ちをキャッチ、背中を押す ・いろんな世代が交流できる機会を増やす など	・企業へ周知し協力を募る ・活躍、挑戦できるための場の提供（公民館、学校など） ・イベント等をする際広報活動、集客 ・美味しい魚のキャンペーン ・地域コミュニティなど、頑張る団体のサポート ・若い市民と若い市職員との対話→アイデア↑（向上） ・外国人との共生。地域と行政が文化、習慣、歴史の相互理解の場作り ・確実な情報発信 ・地域を盛り上げる	・市のイベントやボランティアなど活躍できそうな場のアピール活動 ・外国人との共生。雇用主、行政、地域の連携促進 ・大きな方向性（ワクワクするような）を示す ・地域に必要な最低限のインフラ整備 ・子どもの集客に関することに費用をかける ・企業や会社へ交渉する ・土地の管理 ・確実な情報発信 ・企業体験 ・空き家の管理と提供 ・創業者によるワークショップ など

市の強み 魅力

- ・食の文化がいい（魚やラーメン）
- ・自然が豊かでめぐまれている
- ・高齢者が元気！
- ・観光地でないため飲食店は安くて美味しいお店が多い
- ・※クオリティが高いところが多いと思う！！もっとPRすべき
- ・あまり人がゴミゴミしてなくてストレスなく生活出来ている
- ・造船（関係人口が多い）
- ・人間性豊か！人に優しい
- ・水がきれいで飲んで美味しい
- ・自然環境に恵まれている（海、山、川）
- ・災害が少ない
- ・魚介類が美味しい
- ・他の地域に比べて割と涼しく冬は暖かい
- ・木材が豊富
- ・僻地ゆえ謎に満ちている
- ・番匠川の源流から河口まで佐伯市が所有
- ・何もないというのが良い
- ・水がおいしい
- ・空気がおいしい
- ・天然の良港がある
- ・水脈（水筋）の良い所が多い！

など

8年後の将来像

- ・ナイトウォークができるような安全なまち。街灯
- ・子育て支援の充実と継続。子どもが安全にあそべる。子どもがまんなか
- ・出産祝い金の充実。子育ての支援の充実と継続
- ・こどものための施設。アンパンマンミュージアムみたいな
- ・インダの1F 展示スペースの活用
- ・健康なまち
- ・安全なまち
- ・廃屋を撤去。環境を整備
- ・夢のある街
- ・コミュニティバスが各地区を周回。市内中心部へつながる
- ・子供の多い町
- ・市民参加の盆踊りなど
- ・恋をするのは都会でいいが愛するのは佐伯と思えるまち
- ・帰って来たくなるまちになっている
- ・リターン者がどんどんふえている
- ・地元の業者が活躍できるまち
- ・地域の役割が整理され、少人数でもキツくない暮らし
- ・自然が多く残る地域

市の弱み 課題

- ・子どもが少ない！子育てしにくい点がある（病院が対応できない時が多い。困る）
- ・交通の便が悪い。どこか行くのにも時間がかかる
- ・若い人が遊べる場所がない。集まるとなればさくらホールしかない。必ず大分市内に行っている
- ・道路の整備が遅れている
- ・散歩などにて休む所がない（公園に屋根付の所がほしい）
- ・キオビエダシャクが多い
- ・交通の便が悪い
- ・空き家が多過ぎ。放置廃屋が目立つ
- ・他県からの観光コースを案内！！（宿泊施設、娯楽、遊び少ない）
- ・夜の町がくらい。さみしい
- ・公園が少ない
- ・年よりが多い
- ・自動車がないと何もできない
- ・キオビエダシャクが大量発生している（外来種）
- ・広すぎる
- ・一次産業が衰退している
- ・公共交通が少ない

将来像の実現に向けて必要なこと

【ナイトウォークができるような安全なまち】	【健康なまち】	【恋をするのは都会でいいが愛するのは佐伯と思えるまち】	【地元の業者が活躍できるまち】
・あちこちに街灯がいる。整備 ・みんなで集まって体操とか運動をする ・呼びかける。いっぱい人がいると安心する ・遊歩道の整備 ・トイレの充実	・トレーニングできる場所 ・健康体操、ラジオ体操 ・お茶の間の活用	・都会ではできない教育ができる学校や環境を整備する ・有機米や有機野菜などを使った給食にして、子どもを育てたくなる施策 ・魅力的な仕事をつくる ・税金を安くする	・業種を増やす（多様性に対応する） ・地元業者と大手業者が組んで仕事ができる仕組みをつくる

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・チラシ、SNS でお知らせ ・制服などのリユースを集まってやれるような活動 ・健康管理。ランニング or ウォーキング ・子供の見守り、高齢者の見守り、地域イベント ・独居老人など声かけ、見守り、話し相手など ・地元の農作物、海産物を買ひ支える ・総合的学習の時間をふやし、地元を学習させる ・自然農法による農産物栽培をする	・ベテラン母ちゃんの力を借りて、地域みんなで子育てする活動 ・環境整備。ハードは行政、キレイを保つ（花とか）←地域や自分で ・積極的に体力増進のラジオ体操の実施 ・各地域に子供が勉強できる場所を作る ・地域コミュニティの活性化（市と協ギ会） ・起業する若者を支援する ・中心市街地以外の地域や周辺部に出店する者に対する支援、補助金 ・産業同士の連携。異種業種と一緒に	・クラブ活動の送迎（バスなど）。仕事とかでできないので ・害虫駆除 ・公民館に器具を買って設置 ・地域リーダーの育成 ・ムダな政策をスリム化して住民税、固定資産税を安くして、それを PR ・自校式給食のしくみにもどり完全有機給食を実現 ・地元業者を最優先する（建設関係）

市の強み 魅力

- ・地域、人に特徴がある。それでよいとしていること
- ・九州一の広さによるさまざまな地域特性、文化がある
- ・人がいい。こどもがあいさつする
- ・農林水産物充実
- ・様々な顔がある。山もあれば海もあり
- ・人間性が良い
- ・地域コミュニティ組織がすべての地域である
- ・城山は全国に誇れる遺産
- ・自然が豊か。特に水が豊富
- ・災害が少ない
- ・意見が言いやすい
- ・漁業が盛んなところ
- ・米がおいしい
- ・自然が豊か。特に水が豊富
- ・伝統芸能
- ・住んでいる人がやさしい
- ・野菜、魚など生鮮品が安い
- ・自然が多く住みやすい所
- ・野菜等地元の農産物を出されているので新鮮な物が多い
- ・横のつながりがある
- ・空気がきれい

など

8年後の将来像

- ・みんなが思いやり支え合うやさしい市
- ・高齢者はおだやかに、若者は活き活きと暮らす
- ・全域にある地域コミュニティ組織と連携した協働のまちづくりが進んだ市
- ・いろんなエリアが持つ文化が集う楽しい市
- ・農地や山や川や海がきれいに保たれている
- ・週末になると公園で家族連れがたくさん遊んでいる姿
- ・伝統芸能、文化をつないでいく。復活する
- ・地域の強み。海、山、川を活かした新たな特産品の創出
- ・豊かな自然を活かした独創的な事業
- ・水がきれい。おいしい飲み水を将来に残したい
- ・子どもが増える
- ・若者が住みたいと思えるまち
- ・人と人のつながりをより和やかに楽しい暮らし
- ・新しいことに気がねなくチャレンジできる
- ・起業する人が集まる
- ・U・J・I ターンする人が増えて活気のあるまち
- ・人を気にせず自由に意見が言える（市全体）
- ・健康であること。周囲に目が配れること
- ・営農集落作りを進め後継者不足を解決する
- ・移住者（若い人）の積極的受け入れ
- ・災害に強いまち

など

市の弱み 課題

- ・広すぎてサービスが行き届かない
- ・中心までの距離が遠い地域が多い
- ・子どもが少ない→学校の統廃合？
- ・地域ごとの格差があり、事業展開が難しい
- ・大企業が無いことで産業の基盤が弱い
- ・獣害対策が必要
- ・若者に魅力的な企業が少ない
- ・交通の便が悪い
- ・若者の出会いの場が少ない
- ・企業が来ない
- ・農業に携わる人が減っている
- ・賃金が低い
- ・高校卒業後市外に出る人多い
- ・地域意識が強い。※良くも悪くも
- ・買い物の場所遠い
- ・若者少ない。減っていく。小学生も少ない。部活など選べない
- ・若者が求める（行きたい）場所が少ない
- ・子どもが少ない。学校の閉校が心配…
- ・農業、林業の収益を上げる為の情報、技術、組織が弱い
- ・空き家が多く草刈が大変（休耕田等）
- ・不耕作地の増加

など

将来像の実現に向けて必要なこと

【みんなが思いやり支え合うやさしい市】	【災害に強いまち】	【若者が住みたいと思えるまち】	【健康であること。周囲に目が配れること】
・ちょっとボランティアの仕組みが充実する ・全域にある地域コミュニティ組織と連携した協働のまちづくりを市とともに育てる ・互いにみとめ合える考え方、教育	・地域づくりは防災から ・消防団員を強制的に入団させる ・集落の孤立化を防ぐバイパス整備 ・消防積載車の四駆化。ジェットシューターの充足整備 ・防災を学ぶ機会をつくる	・遊ぶところを増やす ・若者が楽しいと思える仕事作りと創業支援 ・自然を壊す大規模工事の規制（海、山、川） ・地元の小中学生と共同で川の清掃ボランティア	・週4回のグラウンドゴルフ ・老人クラブの一人暮らしの人への見守り（家庭訪問） ・特定検診の受診率を上げる（100％） ・人と会う

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・生活の中で気づいたことを家族で共有する ・見守りまではいかなくても声かけを意識する ・子どもと高齢者が一緒に楽しめるイベント開催をする ・地区共同の清掃活動。高齢者宅の草刈ボランティア ・自然にやさしい農業（米、野菜、果実） ・グラウンドゴルフ。他地区との交流を通じ憩いの場とする ・他の人（外から入ってくる人）を温かく受け入れる ・地元の良さを SNS で発信	・みんなが集まって楽しめるイベントの実施 ・個に発生したことを行政のものにする地域（この課題とせず） ・大学に進学しなくても良いまちづくり ・佐伯市観光の公式 SNS で細めに発信していくための情報提供 ・地域の活性化（イベント）。高齢者等の見守り活動 ・営農＋ブランド業。リーダーの選出 ・空き家バンクの利用 ・防犯、交通安全の啓発	・評価（事業等）のあり方を当事者、対象者から拾う ・地域独自チャレンジスペース、シェアキッチン、シェアカフェ、シェア農園 ・ローカルな郷土コンビニ、情報が集まる、飲食ができる、人とつながれる ・地域コミュニティ組織への財政支援や職員をはりつけての地域と行政が一体となって進める協働のまちづくり ・学校教育の充実 ・使金を地域に任せる。使いやすい交付金 ・農林業体験（無料、低コスト）

市の強み 魅力

- ・海がある
- ・山がある
- ・食材がおいしい
- ・ドラッグストアが多い
- ・面積が広い
- ・海産物
- ・水がきれい
- ・造船
- ・食べるものおいしい。海のもの、山のもの
- ・水が美味しい
- ・空気がおいしい
- ・自然のコンテンツが多い。海、山、川
- ・山、海、川、街がそろっている
- ・市全体をカバーする形でコミュニティ協議会がある
- ・近所とのつながりがある
- ・面積が広い
- ・魚がうまい
- ・魚がおいしい
- ・城下町など歴史がある
- ・中高生があいさつをする

8年後の将来像

- ・学生が帰ってくるまち
- ・IT企業→リモートができる会社
- ・人口増えてほしい
- ・大企業（半導体）の誘致
- ・メンマ会社（たけのこを利用する何か）
- ・働く場所が増える
- ・人口が増える
- ・独身の方向けの行事を増やす
- ・コミュニティバスがもっと走ってほしい
- ・フリーライド制のコミュニティバスが走っている
- ・地元の人が地元に戻元。無人販売所。小規模
- ・元気でいられるまち
- ・それぞれの地域、集落が元気なまち
- ・佐伯市がひとつになる（旧市内、旧郡部）
- ・佐伯に住みたいと思われたい。住む場所としての魅力。住んで幸せ
- ・子どもが少しずつでも増える
- ・子育てがしやすい

市の弱み 課題

- ・空き家が多い
- ・子どもが少ない
- ・企業が少ない
- ・遊ぶ施設、娯楽、映画館、ボウリングがない！
- ・鉄道の本数が少ない
- ・乗り継げない
- ・広い。維持が大変
- ・観光する魅力が少ない。深掘りできていない
- ・金がない（何もできない）
- ・若い子が少なくなった
- ・イベントが被る
- ・面積が広い
- ・旧市、郡部のまとまりがイマひとつ
- ・津波の被害対象区域が広い
- ・温泉がない
- ・宿泊施設もない
- ・どこに移動するにも遠い。福岡や鹿児島
- ・行事が少ない（地区等を越えた）。昔は中央大会
- ・子どもが少なく子ども同士で遊びにくい
- ・空港まで遠い

将来像の実現に向けて必要なこと

【大企業（半導体）の誘致・メンマ会社（たけのこを利用する何か）】	【働く場所が増える】	【佐伯に住みたいと思われたい。住む場所としての魅力。住んで幸せ】
・道路を良くする（道幅広く）	・プレイヤーの目線によりそった施策	・一億総観光化をやめて減税にまわす
・市が補助して施設（工場）をつくる。資金面	・県からの予算を引き出す	・税金を減らす（使う分野を見直す）
・住まいの確保（土地はある）	・企業誘致	・高齢者同士のコミュニティ（ゲートボール等）
・森林の管理という視点。環境にも良いというメリットを知ってもらう	・アクセス、道路の充実	・ふるさと納税
・魅力を発信する（自然が豊か、空気がおいしい）	・造船業の活性化	

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・竹林の手入れ。保全	・竹林の所有に関しての管理	・企業連携。例）マリンレモンメーカーを探す
・良いたけのこを作る	・人材の育成（作れる人を増やす）	・資金をあげる。戻ってきた人への資金補助
・市民が「つながる」「関わる」を増やす	・魅力を発信（学生をまきこむ）	・効果の薄い政策を思いきってスクラップして税金を安くする
・コミュニティ協議会の広報活動	・イベント（祭り）の運営と支援	・草刈り
・市報を配るときに声を掛ける	・空き家の発見。管理バンク	・給食センターの有効活用。夏休みなど長期休暇
・あいさつ運動を推進する	・学校の開放。協働で進める	・KPI、KGIの深掘りをしていく
・地域コミュニティ活動に積極的に参画して地域を活性化する	・要支援者リスト	・地域の理解を深める
	・地道な取り組みを続けたい	・PDCAにゴールをつける
	など	など

市の強み 魅力

- ・人がやさしい
- ・山、川、海
- ・海、川、すべてある
- ・人が良い
- ・魚がおいしい
- ・自然豊か
- ・自然が豊か
- ・農林水産物が豊か（多い）
- ・使用していない公共施設（学校、スタジオ等）がたくさんある
- ・まだきれいな物が多い
- ・山、海、川。自然が豊富
- ・ケーブルTV。FMさいきがある
- ・子どもの医療費、給食費無、高校3年無
- ・自然が豊か
- ・景色の良い所が多い
- ・人が良い
- ・海産物がうまい！
- ・海、山、川の幸であふれている

8年後の将来像

- ・3世代同居が叶うまち
- ・若い人たちが地元で夢を叶えられるまち
- ・特化した学びの場を作りたい
- ・地域の助け合いの循環ができる町
- ・人口増。子ども増
- ・弥生が佐伯の副都心になっている
- ・若者が自由に就労機会を選択できる地域
- ・わかりやすい街であってほしい
- ・高齢者が安心して暮らせる地域（食の確保、提供）
- ・活気あふれる街
- ・誰もがすごしやすい場所
- ・すでにあるサービス（アートナビなど）、施設をもっと市民に知ってもらう
- ・子どもたちが「何もない！」からの脱却
- ・安全、安心で快適に住み続けられるまち
- ・いのちや防災を学ぶ高校や専門学校ができている
- ・酷暑対策ができている
- ・若い夫婦が住みたくなるまち
- ・人にやさしい、自然にやさしい町
- ・交通支援充実
- ・道の駅や里の駅を地域愛あふれる事業者が運営している
- ・防災面での人材育成が進み誰もが災害に強い人になっている

など

市の弱み 課題

- ・魅力的な職場が少ない
- ・仕事を選べない
- ・面積が広すぎる
- ・広すぎる
- ・若者の生活が苦しい（子育て）
- ・交通が不便
- ・まわりの地域に比べてわくわくする場所が少ない
- ・他の地域にでて行く人が多い
- ・治水問題
- ・農地の有効活用が難しい
- ・何でも聞いてみる
- ・アニメスタジオがない（就職できない）
- ・公共交通が利用しづらい
- ・自然が豊かすぎて災害のリスクも高い
- ・大分県の端っこで来てもらいづらい
- ・子どもの遊び場が少ない（公園）
- ・広すぎて行政効率が悪い
- ・災害のない地域づくり
- ・JRやバスの本数が少ない
- ・若者の働く場がない
- ・避難場所が無い

など

将来像の実現に向けて必要なこと

【地域の助け合いの循環ができる町】	【活気あふれる街】	【すでにあるサービス（アートナビなど）、施設をもっと市民に知ってもらう】	【防災面での人材育成が進み誰もが災害に強い人になっている】
・3世代がのびのび住めるリフォーム補助 ・同世代の集まり。悩み、助けてほしいことの共有の場 ・各世代ごとで集まる機会（場）を設ける ・学校や職場単位で助け合い	・オンラインゲームや体を動かせるような遊具（自然を活かしたものなど）、遊園地、VR、映画館など ・自然をいかした仕事を考える ・活用されていない農地を活かした就労、産業 ・若者が楽しめるようなイベントやアトラクションなど	・佐伯市に特化したアプリ、AI など ・最後は人。人がこの街をつくる ・まちづくりコンシェルジュをつくる ・アイデアを言う場所を作る	・小、中学校のころから防災教育 ・消防団員による地域での防災教育活動 ・各小中高校での地道な防災学習 ・災害に強いハード面の整備

など

など

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・コミュニティに助けを求めることができる仕組み ・近所の方々を気にかけて生活（区長、班長と連携） ・オンラインゲームイベントを考えて参加する。または手伝う事 ・コミュニティ協議会の事業を拡充させる ・自分の地域の伝統や歴史を分かりやすく伝えられるイベントを行う ・アイデアをどんどん出す！若者の声を生かす ・このような話し合いの場に積極的に参加する。意外と楽しい… ・道の駅で買い物をする	・コミュニティでハザードマップと備蓄倉庫を見直す ・避難場所を作る ・今まで行ってきたイベントや祭りに加えて現代を生きる若者が楽しめそうなことを取り入れたイベントや祭りをつくりたい ・イベントの時にコミュニティバスを走らせる ・市民の困り事を一緒に考え解決する ・地域の人同士で語り合う機会を設け続けること ・コミュニティ協議会を末永く続けること	・水につからない道を造成！！ ・幅広い年齢層の人々が同じ空間にいて、親しく仲の良い人間関係をつくれるような場所をつくる ・コミュニティバスを夜走らせる ・専門家、プロのアドバイスや支援を活用（長期的に） ・ユニバーサルデザイン（階段など） ・人が集まるための車を出してほしい ・防災活動補助金。消防団など防災士会

な

など

など

市の強み 魅力

- ・ 伝統文化が沢山残っている
- ・ ラーメンがおいしい
- ・ 上岡駅＝公民館、珍しいので PR してもいい！
- ・ 住んでいる人の性格が比較のおだやか
- ・ 九州一面積が広い。自然が豊か
- ・ 海の幸、山の幸（食の豊かさ）
- ・ 各地域（旧郡部）の魅力がいっぱい
- ・ 造船業のステキさを伝えたい
- ・ 観光地がないから工夫次第で何かできそう
- ・ 地元知り合いだらけ
- ・ 進水式が見れる
- ・ 造船業が盛ん
- ・ 各地区に文化財が多い
- ・ 気候が温暖
- ・ 義理人情にあつい
- ・ 釣り場が多い
- ・ 伝統文化が沢山残っている
- ・ 若音など、若者が参画できる企画がある
- ・ 海！（釣り）
- ・ 災害対応力。備蓄倉庫の充実。ハード面の強化
- ・ 都会に比べて人のやさしさを感じられる

など

8年後の将来像

- ・ 佐伯市の大々的な文化祭開催
- ・ 子どもたちが残りたい！と思ってくれるさいき
- ・ 19 地域が一体となり、何かに取り組みができていいいな！
- ・ 若者がリターンして帰ってくる
- ・ 外国人労働者を受け入れ、多文化都市に。市民も国際感覚をもつ
- ・ 高齢者と子どもたちが共にすごせる場所がほしい
- ・ 笑顔あふれる元気な町。つながりのある町
- ・ インフラの見直し。例：学校（こども園）は福祉施設と共有にする
- ・ 大型「道の駅」を作る！！観光で立ち寄りたい有名な
- ・ 不登校の子どもが減る
- ・ 出生率 UP！
- ・ 出会いの場をつくる
- ・ 子どもカフェ、子どもサロンの子どもたちがまた、子どもたちと遊んでくれる
- ・ 人口が増えていてほしい
- ・ 介護のまち。施設が多いので
- ・ 災害が少ないことを活かして大学や企業、子育て世代にひびくまち
- ・ スポーツのまち
- ・ 出ていく人を少なくする
- ・ 空き家をうまくつかうまち
- ・ 小中学校の合併
- ・ となり近所のつながりが深まる地域

など

市の弱み 課題

- ・ 避難所が少ない（キャパが小さい）
- ・ 佐伯の良さを十分に PR できていない
- ・ 高校が減り続けている
- ・ 園児減少
- ・ 人口が少なく、今後も望めない
- ・ 補助金に期間があり対象外になる
- ・ 周辺地域の交通、消費の不便さ
- ・ 観光する所がない
- ・ 人とのつながりが薄くなる
- ・ 豊かな自然をいかしきれていない
- ・ 工場誘致。造船業に頼りきっているのでは
- ・ 空き家の活用が遅れている
- ・ 広い公園が少ない
- ・ 地域の活動を維持する若者の減少
- ・ 高齢者が増加している
- ・ 若い人が帰って来れる魅力的な職場が少ない
- ・ 大きな場所（一日過ごせる場所がない）
- ・ 市外の人たち向けの飲食店等の PR が弱い
- ・ 空き家が多い
- ・ やわらぎをうまく活用してない。クルーズ船客など
- ・ 戦艦ヤマトが佐伯から出たのに、アピールできてない

など

将来像の実現に向けて必要なこと

【佐伯市の大々的な文化祭開催】	【若者がリターンして帰ってくる】	【人口が増えていてほしい】	【となり近所のつながりが深まる地域】
・ 伝統文化を通じて子供や学生達が盛り上がり、市内、県内問わず知ってもらう ・ 現在の活動を絶やさず続ける、文化振興が発展するためには、交流人口を増やす など	・ 地場産業（水産業、林業）をもっと発展させる ・ 佐伯の魅力を SNS 等で発信して広める ・ リターンしてきた人に生活資金を補助してあげる ・ 佐伯の産業を知ってもらう（若者に） など	・ 放課後勉強を教えてくれる場所。学力向上 ・ 子どもを育てやすい、産みやすい ・ 移住者にやさしい ・ 豊高を参考にする。授業料、保育料	・ 地域での人の交流ができる場や行事をする ・ 若い人に必ず結婚してもらう

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・ できるだけ地域行事に出る、行ってみる（子どもたちと一緒に！） ・ 地域の中で声かけして集まりやすい環境を作る ・ 子どもたちの見守り。友だちになること ・ 生活で困っている人を把握し助けてあげる ・ 地域の活動を周りの人たちと協力して実践する ・ 情報発信（SNS 等） ・ 高齢者の見守り ・ 現在の活動を絶えず続ける ・ 積極的に活動（行動）する	・ 話し合いや交流会の場を設ける ・ 佐伯市で働きたい環境づくり ・ 問題点を市に伝えて力を借りて実現していく ・ 文化を継承するための支援を地域と行政が協力する ・ 各地域コミュニティ協議会の活動を盛りあげる ・ 地区と行政の情報交換の場所をつくってもらう ・ 花の植栽 ・ 働く場所 ・ 登山道の整備	・ 地域の集約。コンパクトシティ ・ 佐伯市が稼ぐ力。収入が増える仕組みづくり ・ 助成金等の情報を考えてくれる市の職員とのつながりがほしい ・ 市の職員の資質を向上する（地域の中で貢献する） ・ 子どもが生まれたらドカッと祝い金 ・ 空き家、空き地の提供。数年間住んだらあげる ・ リターンで就職したら支援、謝礼 ・ 交通の便をよくする ・ イベントに送迎バスを出す

市の強み 魅力

- ・小規模特認校が出来た
- ・子育て世帯は住みやすさと「食」の豊かさ
- ・気候が良い
- ・土地は広い
- ・自然が豊か
- ・城跡、歴史
- ・海のまちとして力を入れる
- ・自然。海と山
- ・自然豊か
- ・海がきれい
- ・自然を生かした町作り

8年後の将来像

- ・人口が少しでも右肩上がりになる
- ・企業の参入による人口減に歯止め
- ・移動支援のしくみが完成する
- ・若者と高齢者がつながり安心して住める
- ・医療の充実
- ・道路の整備
- ・良い病院

市の弱み 課題

- ・若者が遊ぶ場所が少ない
- ・魅力ある就職先が少ない
- ・何をするにも他人事に感じている人が多く、言うだけで自らが当事者としての意識を持たない
- ・前例のない事には消極的で、他地域の様子を見て取り組み始めるので、行政の積極性が無い
- ・年寄りを取り残されている
- ・お金が無い。産業が少ない
- ・働く場所がない(若い人がいない)
- ・学校の旧部郡と中心部の格差が大きい(学力、部活など)
- ・空き家が多くなる。後の処置大変
- ・若者が外に出て行く
- ・空き家が多い
- ・災害の心配
- ・人が入っていくための道が悪い→空き家につながる
- ・専門医が少ない
- ・移住者がイベントに参加しない
- ・端々と中心部の生活環境の差
- ・交通に不便

将来像の実現に向けて必要なこと

【人口が少しでも右肩上がりになる】	【企業の参入による人口減に歯止め】	【医療の充実】	【道路の整備】
・ いらない土地を譲りうける→無償で渡す ・ 一時金ではなく継続して支援することで定住してもらう ・ 子供に対する支援金を増やす ・ ラーメン屋を増やす（外国人が行く） ・ 家を建てる補助	・ 外国人との交流によりお互いを知る ・ 外国人が働きやすい町作り ・ 企業の誘致	・ 人材不足→解消策 ・ 若い人が戻ってくる ・ まず働くところがあればよい。安定した所得 ・ 初等教育の維持 ・ 法律に詳しい職員等専門家	・ 何かあったときに役員の負担を軽くするための何か ・ 免許返納しても自由な移動支援 ・ 徹底した移動手段 ・ 大事な（通院などの）交通網 ・ 組織としての保険制度（コミュニティ or 行政）

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・ さいきを想う日。3月3日。みんなで佐伯を考える日、場所をつくる ・ 地域の中の一員として活動を続ける ・ 健康でいること ・ 佐伯の発信。住みやすさを伝える ・ 河川の草刈り。片付け ・ 納税	・ 佐伯を出ても思い出すような仕組み（ふるさと納税） ・ 子ども達の郷土愛を育む活動 ・ 佐伯の発信。住みやすさを伝える ・ 地域との連携体制（草刈り、清掃） ・ 会社（地場）の立ち上げ。補助 ・ 災害時、倒木処理など（何かあったとき） ・ 台風後の対策	・ 市全体としては小回りのきくサポートがあれば ・ 市税が入る大きな会社を呼ぶ ・ 人口減、高齢化が進む中で地区内のそうじ ・ 浜と農道の清掃など予算確保 ・ 自衛隊誘致 ・ ふるさと納税の充実 ・ 小回りのきくサポートは魅力 ・ 積極的な情報発信 ・ 佐伯を PR ・ 予算

市の強み 魅力

- ・魚がおいしい！（県外の人々が喜ぶ）
- ・佐伯の人は全体に人情味のある人が多いと思う
- ・新鮮な魚に恵まれている
- ・自然に恵まれている
- ・城山の石垣アピール
- ・山も海も川もある
- ・人が多すぎない
- ・やる気のある人達が居る
- ・城山、大入島等、観光資源がある
- ・魚が美味しい
- ・魚も山の幸も米もおいしくて食が豊か
- ・自然が豊か
- ・人、お店、会社などつながりが強い（多い）
- ・他県などから来た人がみんな好きになる（移住してきた人たちが活躍している）
- ・あったかい人が多い
- ・いろんな年代の人があつまる場所がふえた
- ・食べ物がおいしい
- ・ちょうどよい気候
- ・災害が少ない
- ・海や川がきれい

など

8年後の将来像

- ・こどもが住みやすい場所
- ・ふるさと納税の充実
- ・働き場所を使ってほしい
- ・交通の便が良くなる事
- ・こどもが仕事を選べる。都会へ行かなくてもやりたい仕事ができる
- ・働き口ができると良い
- ・人が集まるまちになってほしい
- ・ここに住みなよ！と言える街
- ・子ども達が居たいと思える佐伯市に
- ・遊べる施設がほしい
- ・若者から高齢者まで誰もが住みやすい町
- ・孤独の解消
- ・車がなくても行きたい所に行ける
- ・家から出たくなる
- ・魅力的な企業、仕事場が佐伯市に増える
- ・1人くらしの老人が増える
- ・相談事が気軽にできる場所が増える
- ・森林を活用した遊ぶ場所がある
- ・佐伯で働く場所が増えている
- ・企業誘致。いろんな職種がある
- ・こどもが地域で暮らし続ける

など

市の弱み 課題

- ・となり（近所）の人への無関心
- ・交通の便が悪い
- ・駅前がさみしい
- ・便利な方へ教育方針。でも仕方ない
- ・アーケード通り。寂しい
- ・城山の石垣アピール
- ・人口バランスが悪い
- ・市が広くて移動が大変
- ・人口減少が続いている
- ・企業が少ない
- ・魅力的な仕事が少ない
- ・車がないと移動が大変
- ・人口減少が早すぎる
- ・働く場所がない
- ・車がないと行きたい所へ行きにくい
- ・新しい企業が来ない
- ・校舎が古い
- ・良さがPRできていない
- ・人が減っている
- ・地域にはあるが店がない
- ・給料がいい職場が少ない

など

将来像の実現に向けて必要なこと

【こどもが仕事を選べる。 都会へ行かなくてもやりたい仕事ができる】	【孤独の解消】	【相談事が気軽にできる場所が増える】	【こどもが地域で暮らし続ける】
・草ぼうぼうの場所や使用していない場所の手入れ ・人口を集めるためのイベント含めPR力 ・観光地までの道路を改善する ・働くことが地域をよくすることを知ってほしい など	・身近な地域の関係性 ・年代にあわせたあそび場を作る ・買い物支援	・こども食堂 ・コミュニティに手厚い支援（スタッフとお金）	・若い人にとって戻りたいと思うまちは何か聞く ・自由な選択ができる環境を整備するため視察に行く ・面白いイベントがあることを若い人に知ってもらう ・失敗をおそれずチャレンジできる環境づくり ・こどもの居場所をつくる など

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・住み続けたい地域のために行事には参加する ・こどもの意見をきく場、機会をつくる ・あいさつをする ・困っている人の把握 ・集会を月1回位開いて住民の親睦をはかる ・散歩する ・地区行事を活性化し、区民の交流を進める ・お店に通ってお店を応援 など	・地域コミュニティ同士の連携をする ・地域コミュニティづくりを進める ・困っている人の対応策の検討 ・佐伯市出身者に成功の秘訣を聞く ・コミュニティや子どもの居場所、多機関で話す機会を作る ・移動手段の確立 ・地域と行政が話し合える場をつくる ・既存施設の有効活用 など	・専門学校、大学などを佐伯につくる ・行政が各地区の長にもっと働きかけてほしい ・子どもが集まる工夫。魅力あるイベント ・交通も含めデジタルを生かして人が効率良く動く集まれるしくみを！ ・地域の人がつながる活動へ補助金を出す ・ふるさと納税の強化 ・企業誘致 ・こどもの居場所としてお店の活用 など

市の強み 魅力

- ・大きな災害が少ない
- ・住みやすい。気候がよい
- ・食。山の幸。海の幸。ラーメン。飲み屋が多い
- ・海や山に囲まれた自然豊かなまち
- ・お寿司がおいしい
- ・佐伯市は広い
- ・人とのつながり。交流
- ・林業
- ・自然。景観（渓谷、海、港、山）
- ・海がある。アクティビティ。水産業。養殖
- ・自然の恵み。海の幸、山の幸に恵まれ食材が豊か
- ・食がよい
- ・小学生がよく挨拶してくれる
- ・人が優しい。人の距離が近い
- ・佐伯で働く外国人はすばらしい
- ・日本に住むフィリピンの人はよく挨拶をしてくれる
- ・魚がおいしい。寿司
- ・人間性、おだやか、思いやり、言葉
- ・人が優しい。人に優しい
- ・YouTube で若者、年配の方々が発信している
- ・海、山、里の食べ物。身近でおいしい

など

8年後の将来像

- ・子どもが、子育て世代が豊かに暮らせる
- ・海、山を活かした遊びのまち
- ・商売を気軽に始める。チャレンジできるまち
- ・文化財、歴史を守り活かす
- ・地場産業の繁栄
- ・若者が帰ってくる、若者の職場がほしい
- ・空き家活用できている
- ・子どもたちが佐伯の魅力を語れるまち（豊かさの価値観の理解）
- ・水辺を活かしたまち
- ・市民の対話の場がたくさんあるまち
- ・AI を利用した交通機関の導入
- ・交通人口の増加
- ・食、自然を活かして観光産業とのコラボ
- ・コンパクトシティ
- ・交通の便がいいまちに
- ・若者が元気で働ける佐伯
- ・子どもが元気で活気のあるまち
- ・桜ホール付近が佐伯の中心部となっている
- ・コンパクトなまち（買い物、公共機関、病院などが住民の身近になる）
- ・子どもを育てやすい市と県 No.1 になっている
- ・災害に強いまちに

など

市の弱み 課題

- ・企業誘致がうまくいっていない
- ・若者の減少
- ・観光地の見せ方がヘタ
- ・交通の便が悪い
- ・立地が悪い
- ・ギャラリーがない
- ・小さな小物の店がない
- ・施設がバラバラ
- ・子どもが挑戦する場がない
- ・つながりがない。地域ごとの行事など
- ・航路が停止中
- ・鉄道のダイヤが少ない
- ・情報が遅い
- ・医療機関の少なさ
- ・公共交通の問題。バス等
- ・子どもが安心してのびのび遊べる公園がない
- ・企業が少ない
- ・市の入札の許可を取るのがややこしい
- ・大型店ばかりになってしまった
- ・避難場所が明確でない
- ・中心部と周辺部との差がある

など

将来像の実現に向けて必要なこと

【子どもが、子育て世代が豊かに暮らせる】	【若者が帰ってくる、若者の職場がほしい】	【コンパクトシティ】	【災害に強いまちに】
・子育てに手厚い支援 ・子ども、家庭、親への支援 ・体験学習。産業、漁業、林業 ・地域ぐるみで子育てする環境	・佐伯市内の企業が給料アップする ・市内の企業の売上が増える市の支援 ・自慢できるイベントの開催 ・オシャレでデザイン性の高いまちづくり ・遊ぶ場所をつくる	・核（中心）となるところ（買い物できるところ） ・人が歩く（施設等をつなぐ）導線 ・小売店等のお店 ・人が滞留できるところ（映画館など） ・充実した公共交通	・津波が来ても大丈夫な場所。施設をつくる ・遠くに山があるので避難しやすいコースの設定 ・山へ逃げる道を整備する ・備蓄倉庫を増やし避難場所を増やす ・道を広げるなど住宅も含め整備する

など

将来像の実現に向けてできること

自分や地域にできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・近所の方々とコミュニケーションをとる ・地元の企業を利用する。応援することで売上を UP させる ・対話の場の継続 ・自分のスキルを地域や住民の中で活かすこと ・外国人住民が社会に溶け込めるための支援 ・防災について各地区で組織をつくる ・長生きをして子どもたちの安全安心を守る活動に取り組む ・環境整備をするための労働力の提供	・まちの魅力を把握して発信する ・情報の共有 ・イベントの場を提供する ・魅力ある環境づくり、対話の場づくり ・まちづくりに関する実証実験 ・地域おこし協力隊 ・リタイアした人の力を借りて子どもの勉強、生活支援に協力してもらう ・企業（会社等）から献金を募る。児童クラブ等への補助金	・佐伯で生産されるものをプロモーションする ・閉鎖的な感覚を捨ててアイデアを受け入れる。PR ・点在する施設をまとめる→観光につなげるため ・企業を推す人への支援 ・職員の地域活動への積極的参加 ・地区行事に対する資金援助の拡大 ・防災に関しては行政の補助が必要 ・教育（学校）環境の充実や整備

など

市の強み 魅力

- ・食べ物おいしい。安い
- ・資源が豊富。魚、林業、造船業
- ・ツール・ド・さいき
- ・ジビエ
- ・大きな災害が少ない
- ・自然の豊かさ→観光
- ・漁業関係者
- ・景観の良さ
- ・市長が教育と福祉に関わっていた
- ・食べるものおいしい！
- ・自然が豊か
- ・海、山ありの土地の広さ
- ・造船、養殖、漁業が強い
- ・まちづくりにがんばっている人がいる
- ・災害が少ない
- ・人情に厚い地域
- ・地域が全体的によい
- ・高齢者…ではなく人生の先輩、先達が多い(^^)など

8年後の将来像

- ・インクルーシブな社会にする
- ・農業の衰退が食い止められている
- ・地域コミュニティの活動が活発化している
 - ※活動支援金の予算保障
 - ※環境保全
 - ※人とのつながり
 - ※地区イベント
- ・企業誘致（人口増加）
- ・出生数が 200 人くらいを維持
- ・若い人が生き生きと挑戦している
- ・土地や家のオーナー制度（市外の方対象市内も OK！）
- ・若い人が働きやすい！若い力で佐伯市が活気づくまちに
- ・皆で集まり楽しむ場所、イベントがある
- ・企業誘致していてほしい
- ・佐伯市民の流出を防ぐ

市の弱み 課題

- ・市全体での物事に対して取り組むシステムがない！
- ・行政の支援が行き届かない。広すぎる
- ・旧市内の要望を取り上げること
- ・交通の便が悪い。空港が遠い。JR 本数が少ない
- ・交通の便がよくない（ひとり 1 台の車使用。高齢者含む）
- ・人口減
- ・人口減少
- ・いろいろな仕事の担い手がない
- ・交通の便
- ・観光客が少ない
- ・大きい津波が来たら怖い！！
- ・働く場所が少ない。職種が選べない
- ・離農。農地が荒れてきた
- ・SNS 等の発信、アピール
- ・温泉がない
- ・働くところがない。交通が不便
- ・シャッター商店街
- ・空港が遠い
- ・鳥獣害
- ・ホテルが少ない

将来像の実現に向けて必要なこと

【地域コミュニティの活動が活発化している】	【土地や家のオーナー制度（市外の方対象市内も OK！）】	【佐伯市民の流出を防ぐ】	【若い人が働きやすい！若い力で佐伯市が活気づくまちに】
・ 地区への補助金を増やす	・ 土地や空き家の税金免除でその利用者を開拓する	・ 小、中学校（進学校）の充実	・ 職業体験を真剣に！！
・ 地域をよくしていこうとする住民を助ける地域活動支援金を予算化する	・ 芸短大の学生による空き家のリノベーション	・ 若者をとどめておく専門学校	・ 中高生にイベントのボランティア
・ コミュニケーションができる場所づくり	・ 空き家の活用	・ ブリバーガーを売り出す	・ インターンシップを導入して高校生や大学生が参加する
・ 若い人も高齢者も子どもも集まれる場所づくり など	・ 利用者のリサーチを早めに…	・ 点×面の P R	
・ 提供者の発掘			

将来像の実現に向けてできること

自分や地域にできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・ 地域おこし協力隊など情報について、発信と受信。どちらの力も高める	・ イベントの開催	・ 市長、副市長が半年に 1 回各地域を回り対話をする
・ 茶の間の会に来たいと思ってもらえるような取り組みを考える	・ 地域の行事に市の職員がボランティアとして参加してつながりをつくる	・ 地区の困りごとに真正面から向き合う
・ 地区の伝統行事の継承に関わる	・ 地域おこし協力隊など情報について、発信と受信。どちらの力も高める	・ 有償ボランティアを広げていく
・ 空き家になりそうなことを地域に早くに伝えておく	・ 中高生のボランティア参加	・ 地域コーディネーターを若い人にしてもらう
・ 佐伯市大好きな仲間を集めて行政に物申す（声を上げる）！	・ 空き家対策担当の課とコミュニティがつながる	・ 学校との連携
・ 子どもたちと一緒に体験する	・ 高校生と商品開発継続	・ 佐伯のアピールを存分にする。力いっぱい
・ 友達においしい佐伯の居酒屋を紹介する	・ 企業と教育現場連携（早期から）	・ 堅さをなくした P R
・ 人に優しくすること など		

市の強み 魅力

- ・自然が豊かで川や山がきれい
- ・地域愛が強い
- ・伝統芸能や文化財、天然記念物などが多くある
- ・ソボサンショウウオやカモシカなど貴重な生物がたくさんいる
- ・クマがいない
- ・水とお米、しいたけ、ジビエがおいしい
- ・木浦鉱山やキリシタンなど歴史的に昔から重要な場所だった
- ・イノシシとシカと共生している
- ・人がやさしい
- ・自然との共生
- ・農林公社がある。農地を守る
- ・寒暖の差で農作物がおいしい
- ・ジビエ料理が最高
- ・伝統芸能がすばらしい
- ・木材が多くある
- ・九州一広いまち。自然が豊か。各地域に名所あり
- ・災害が少ない
- ・海、山の恵みあり
- ・ユネスコエコパークがある
- ・食べ物がおいしい
- ・海、山、様々で守備範囲が広い

など

8年後の将来像

- ・老老介護が中心になる
- ・外国人増加
- ・佐伯市の中心駅。佐伯駅→上岡駅→宇目の重岡駅へ
- ・人口（移住する人）を増やす
- ・人口が増えている
- ・自然環境を守ろうという意識が向上している
- ・佐伯がしっかり知られているまち
- ・素敵な道路
- ・地域にも小学生を呼び込む
- ・各地区の存続をまじめに考え始める
- ・子どもが県外、市外に出ても将来的に帰ってきたいと思えるまち
- ・絶対に人口は増えない(そうならないまち)
- ・高齢者が困らないまち（移動、買い物）
- ・農地が荒れる（荒れないようにする）
- ・佐伯市の魅力に気づいた人たちが多く移住してくる

市の弱み 課題

- ・移動するのに車がないと不便
- ・交通手段が少ない
- ・若い人が働く場所がない
- ・市の財政力が弱い
- ・遊ぶところがない
- ・海、山、様々で守備範囲が広い
- ・産廃集中
- ・子育て世帯など市内に流出
- ・市営住宅の空き
- ・施設を有効利用できていない
- ・人がいない
- ・人口が減少
- ・食べていける仕事がない
- ・独居のお年寄りが多い
- ・危機感をもっていない
- ・広い
- ・空き家や空き地が多い
- ・交通弱者が増加
- ・狩猟者が少ないために有害駆除ができない
- ・自然はあって当たり前と思っている
- ・狩猟者が少ないためにイノシシ、シカが増える

など

将来像の実現に向けて必要なこと

【佐伯市の魅力に気づいた人たちが多く移住してくる】

- ・伝統芸能×移住
- ・学校の維持
- ・仕事を増やす
- ・リモートで済む働き方を見出す
- ・生活環境の整備

など

【地域にも小学生を呼び込む】

- ・つながりから人を呼ぶ
- ・仕事や働く場をつくる
- ・「ここに住んだら」というメリット（補助など）
- ・海、山を活かしきれていないので、帰ってきたくるような発信を
- ・帰ってきたくるような発信をする

【農地が荒れる（荒れないようにする）】

- ・新規就農者を増やす
- ・農地オーナー制度
- ・企業参入（農業）
- ・認定農業者にさらなる優遇
- ・高齢者に対して営農指導

など

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること

- ・長生きする
- ・地域の行事への参加
- ・情報発信
- ・昔ながらの助け合い。つながり続ける
- ・地域の課題を掘り起こす
- ・いつものメンバー以外で新しい方を招いていろいろな話を出してもらう
- ・地元のお店をたくさん利用する
- ・空きハウスの情報を提供

など

地域と行政などが協力してできること

- ・営農指導
- ・行政が空きハウスのマッチング
- ・団体をつくる
- ・回数を重ねたワークショップ（不満を挙げる場）
- ・いろんな地域が集まる場づくり
- ・地域の防災組織など拡充
- ・佐伯製品のブランド化
- ・佐伯の魅力を伝えるツアーの案内

など

行政にできること

- ・佐伯の自然を守る条例をつくる。具体的な環境宣言など
- ・都市との意見交換（移住促進や佐伯の PR）
- ・大分県人会の佐伯出身の人たちに協力してもらう
- ・佐伯市の PR
- ・民間企業や市民と積極的にコラボして目標を具体的に立てて動く
- ・ふるさと納税に次ぐ収入源の確保
- ・高齢者へのサポートの充実化
- ・佐伯の有名人の意見とつながりを活かす。

など

市の強み 魅力

- ・ボランティアで人が集まる
- ・魚、すり身が安い
- ・魚がおいしい。食の佐伯をつくる
- ・島が涼しい
- ・魚が新鮮。おいしい
- ・海の景色がよい。うまくPRすべき
- ・人とのつながりが深い
- ・自然も豊かで時間の流れもゆるやか。せわしくない
- ・農産物（柑橘類など）
- ・海、川、山の自然
- ・食材（海）が豊富である
- ・魚が新鮮でおいしい
- ・自然が豊か！海あり、川あり、山あり
- ・水に困ることがない（水源がある）
- ・のんびりできる
- ・家の中から朝日が見える
- ・人々がつながりやすい
- ・災害が少ない
- ・人が優しい
- ・島一周できるのは有利な観光地
- ・元気な声が聞こえるまち

など

8年後の将来像

- ・若い人がたくさん働くところがある
- ・若い世代がまちづくりの主体になる
- ・何らかの行動を起こし、もっといいまちにしたい
- ・島民が団結して楽しいイベントができる
- ・施設や団体が島を拠点として入ってきてほしい
- ・転入者が増えて人口が増えてほしい
- ・企業の誘致
- ・企業誘致や大学開校
- ・若者が多く仕事場があり、活気がある市になってほしい
- ・大入島に橋をかければ観光のまちとなり、にぎやかなまち、繁栄のまちになる
- ・一次産業も盛ん
- ・すべての人が住みやすいまちに！！
- ・海のきれいな自然が残ってほしい
- ・普通に暮らせる
- ・自立した生活ができる
- ・交通の便がもっとよくなってほしい
- ・家が自分の代で終わらず子どもに帰ってきてもらいたい
- ・長寿の島になりたい
- ・定年後は島に帰ってくる（経済は豊かである）
- ・高齢者でも安心して暮らせる地域
- ・高齢者が多くなるので福祉の充実した佐伯市

など

市の弱み 課題

- ・駅の周辺がさみしい
- ・どこが中心かわかりづらい（市内）
- ・港がさみしくなった
- ・文化面が弱い
- ・立派な図書館
- ・若い家族が過ごせる場所がない
- ・交通が不便でフェリー代が高い
- ・森林がうっそうとして怖い場所が多くなった
- ・仕事が少ない
- ・道路がデコボコ
- ・人口減で学校（特に小学校が）減っている
- ・若い人が働く場所がない
- ・観光資源が少ない
- ・産業が少ない
- ・車がないと移動が大変
- ・道路整備が遅れている
- ・温暖化で魚がとれない
- ・島内に仕事がない
- ・魅力的な仕事が少ない
- ・害獣駆除が進まない
- ・観光資源を有効活用できていない

など

将来像の実現に向けて必要なこと

【何らかの行動を起こし、 もっといいまちにしたい】	【転入者が増えて人口が増えてほしい】	【一次産業も盛ん】	【家が自分の代で終わらず子どもに 帰ってきてもらいたい】	【高齢者が多くなるので福祉の充実した佐伯市】
・市長に大入島を盛り上げてほしい	・企業の誘致	・魚がたくさんとれる！！	・定年後にパートで働けるようなNP0法人	・デマンドバスの導入
・昔の食を伝えて広げること	・フリースクール	・地球温暖化対策	・遊び場が少ない	・福祉の手続きを簡素化する
・食のまちを強くする活動	・学校、企業などと連携し、研修や合宿で島 を利用してもらう	・藻場の整備	・定年後に働く場が少ない	・船の便数、時間の工夫
・魅力の発信	・マンパワーの補強		・人と人との絆を強くする	・夜間の救急対応公共交通
など			など	など

将来像の実現に向けてできること

自分や地域にできること	地域と行政が一緒にできること	行政にできること
・地域でベクトルをあわせる（協力）まち	・連絡、相談で地域と行政が問題を共有する	・皆で決めた問題点、計画を支援する（人、お金）
・それぞれのコミュニティの育成と持続	・まちづくりに関して、知識や経験を持つ専門家を仲間にする	・次世代を育てる
・長生きすること（税金をできるだけ払う）	・若者を呼び込んで島民と協働でイベントなどをつくりあげる	・夜間便の補助の延長
・人にやさしい思いやりのある人間関係	・島の環境保全（マンパワー予算）	・地域に沿った防災対策
・高齢者であってもいろんな集まりに参加していく	・埋め立ての話などを住民が理解し、協力することで市全体の振興を図る	・海上交通。市の運営にする
・ひとり暮らしの人に声かけをするように	・ワークショップを年齢別に開催する	・佐伯市に産業がない。誘致してほしい
・地区の行事に参加するよう誘う	・移住者（外国人を含む）を受け入れる体制をつくる	・島の人の声に耳を傾けてほしい！！
・地域のつながり。顔の見える関係を維持する	・互いの思いやりの実現	・地域が高齢化しているので、行政から人的支援がほしい
など	など	など

市の強み 魅力

- ・魚がおいしい
- ・魚のイメージが強い
- ・自然が豊か。食べ物がおいしい。海も山もある
- ・子どもたちの医療費免除
- ・多様な自然
- ・魚がおいしいこと
- ・スポーツが盛ん。身体能力が高い
- ・魚がおいしい
- ・城山からの景色がきれい
- ・空気がおいしい
- ・番匠川がきれい
- ・居酒屋がおいしい
- ・魚が新鮮
- ・人柄（人情）
- ・美人が多い
- ・自然が豊か。食が豊か
- ・豊かな自然。人の温かさ
- ・水産業が盛ん
- ・海がきれい

8年後の将来像

- ・人口が少ないなりに老人が元気で仕事をしているまち
- ・人が少なくても一人一人が活発なまち
- ・環境の整ったきれいな町
- ・住み続けたい町であってほしい
- ・子どもたちの声に溢れた町
- ・農地の有効利用
- ・VR で一次産業や機械の仕事を体験する
- ・外国人との共生社会
- ・人口減少しても住んでいる人が笑顔
- ・河口橋ができて鶴見がにぎわっている
- ・長寿のまち No.1 になる
- ・佐伯版江戸市場構想が実現
- ・東九州新幹線の的確地。新佐伯駅の計画策定
- ・企業誘致。大学誘致
- ・山、海をいかしたアスレチック的な大きな遊び場をつくる
- ・子育て支援が全国のトップ 10 に入る

市の弱み 課題

- ・広すぎる
- ・インフラ
- ・交通機関。コミュニティバスの利用性。医療体制
- ・人口減少により地区行事が成り立たない
- ・交通機関。道路、船、鉄道
- ・高齢者が多い
- ・狭い道が多い
- ・広いため交通の便が悪い
- ・若い人材が働く場所がない
- ・若い人がいなくなっている。子どもが少なくなっている
- ・大企業がない。不便（車がないと移動できない）
- ・良い取り組みをしているのにアピールが下手
- ・住民意見を聴きすぎて逆に動きが鈍くなっている
- ・若い人が少ない
- ・広い。広すぎる
- ・交通の便が悪い
- ・災害（台風、大雨）が多い
- ・畑が草ぼうぼうになってもったいない
- ・広さを生かし切れていない

将来像の実現に向けて必要なこと

【人口減少しても住んでいる人が笑顔】	【河口橋ができて鶴見がにぎわっている】	【山、海をいかしたアスレチック的な大きな遊び場をつくる】	【子育て支援が全国のトップ 10 に入る】
・定期的に集まれる空間やイベントがある ・地域の人と一緒にやって行うイベント ・祭り ・隣、近所、地区の人とのつながり（声掛け）を深める ・職業体験ツアー など	・海と魚が増える方法を解明してほしい ・橋の必要性を（防災面等）訴える ・水産の体系を見直し、外からの人材を入れるように ・地域循環する仕組みづくり ・若い人や親の介護等で戻る人が働ける場所 など	・水産市場の活性化 ・観光市場 ・佐伯版江戸市場構想の実現	・親の負担軽減 ・塾代無料 ・放課後児童クラブの充実 ・子どもの医療の充実 ・子どもの夜間診療増やす

将来像の実現に向けてできること

自分や地域でできること	地域と行政などが協力してできること	行政にできること
・地域行事に参加して、つながりを増やす ・地域の見守りや声掛けをしていく ・橋の必要性について訴える ・あいさつ、声掛け、近所の人との関わりを強める ・祭りやイベントを絶やさない ・これからの漁業（産業）を守る ・外国人労働者との関わりを強くする ・出来ることがあればボランティアが活動を考える など	・市職員と市民を交えたワークショップの積み重ね ・話す場。声を出す。声を聞く ・家の道路が草に圧迫されている。イノシシやシカも山が整備されれば山に戻るのでは？草刈りを行政で ・環境の美化。道路の整備 ・地域全体で大きなイベントを行う ・行政と各種団体が一つの目標に向けて話し合いを重ねる ・市民と行政の話し合いの場を多くする	・空き家対策（有効利用）や他県よりの移住促進 ・中心部だけでなく周辺部（旧郡部）にも支援をしてほしい ・住民の理解を得て国に要望する ・橋を架ける ・事例収集→実現可能な施策の選択 ・市長のトップダウンで支援強化。予算配分の明確化 ・補助金をもらって

市の強み 魅力

- ・海、川、山がある
- ・自然体験が豊富
- ・海洋環境の豊かさ
- ・市民活動が多い
- ・一次産業が多種
- ・豊かな食資源
- ・海
- ・ご飯がおいしい
- ・獲れる魚の種類が多い
- ・人が優しい。自然が豊か
- ・魚が安くておいしい
- ・道があまり混まない
- ・食べ物が何でもおいしい
- ・近くに家がないので犬を飼いやすい
- ・狭い範囲。付き合いが濃い
- ・食産業が元気良い
- ・造船
- ・食
- ・野菜、果物、魚が美味しい
- ・自然が豊か
- ・人間性が良い人が多い

など

8年後の将来像

- ・自然を生かした企業がある
- ・リモートワークを活用できる体制をつくる
- ・生産性、効率化、成長、拡大ではない価値観を
- ・森里海関連の実践を通じて魚の魚種と個体数を増やす
- ・育児しやすさ1番
- ・どこか大企業がきて働けるといえるところがある
- ・自動運転で外出できる
- ・みんなやさしくて助け合う地域
- ・自由な毎日食堂でごちゃまぜ地域共生社会の実現
- ・高齢者が安心して暮らせる（病院、店、交通）
- ・職場が増える
- ・きれいな海を守る基点となってほしい
- ・山との交流があるまち
- ・環境の変化に対応していくまち
- ・こどもが帰ってくる町
- ・健康長寿の町（日本一）佐伯
- ・人口が増える
- ・全世代の人が助け合える→住みやすい
- ・空き家の活用。整備
- ・人が住みやすいまち
- ・企業誘致で働く場所が増える

など

市の弱み 課題

- ・文化保全が厳しい
- ・公共事業の減少
- ・道路状態の悪化
- ・公共交通が衰退
- ・上下水道と道路（インフラ）維持
- ・小学校、中学校の統合の可能性が高い
- ・若い人が出て行ってしまう
- ・魅力ある企業が少ない
- ・佐伯市が広すぎる
- ・車がないと不便
- ・学校の跡地が生かしていない
- ・移動手段が少ない
- ・蒲江は尾浦～波当津まで各浦が多い。大変
- ・他地域を知らない。まとまらない
- ・公共交通の弱さ
- ・人口減少
- ・地域が広すぎるから移動が大変
- ・地域のリーダーの後継者不足
- ・広さ
- ・車がないと移動が大変
- ・大きい企業がない。働き口がない。人口流出

など

将来像の実現に向けて必要なこと

【森里海関連の実践を通じて魚の魚種と 個体数を増やす】	【自由な毎日食堂でごちゃまぜ 地域共生社会の実現】	【職場が増える】	【こどもが帰ってくる町】	【人が住みやすいまち】
・自然共生サイト ・山の整備 ・自然保護を考えるための映画を上映 ・みんなで共通理解 など	・地域協力隊みたいなものをつくる ・健康長寿の町（日本一）佐伯をめざす ・蒲江の魚をアピール ・寄る（夜）ご飯 など	・水産関係企業の誘致 ・小中学生との交流や地域に親しむ方策 ・1次産業で稼げるようにする ・実施事業の選択が必要	・ふるさと納税 ・1か所モデルケースをつくる ・地域の方の話を聞く （その人ならではの知識）知り、まとめる	・交通の便が良くなる ・コミュニティバスの充実 ・利用しやすい公共交通

将来像の実現に向けてできること

自分や地域にできること	地域と行政と一緒にできること	行政にできること
・地域を歩いて回る ・男の料理教室の実施 ・出来る限りこども食堂、地域での行事のお手伝いをする ・地域情報の発信 ・地区内のごみ清掃。草刈り等（道路、広場等） ・環境に対しての意識を持つ ・高齢者や若い人たちとなるべく話をする ・日常生活の中での支援 など	・大会、イベント、地域、行政で行う ・情報発信を強化 ・オープンなスペースで集う（カフェでも） ・地域の人と行政の話し合いの場をつくる ・こども食堂を協働する ・行政と地域のコミュニティを大切にする ・山に登る。川、海に入る ・映画の上映、企画、実施 など	・移動しやすい公共交通網の整備 ・自然体験で使う道具をそろえる ・資金、人の補充。申請等の支援 ・地域から人を出してもらう ・企業誘致 ・佐伯の地区単位で小サロンを行政が積極的に動いてほしい。 ・そういう課を考えてほしい。 ・市長に企業誘致を頑張ってもらう など